



第六回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞
- Innovative Communication Award (ICA) -

審査結果発表



第六回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞

- JAAA 若手大賞 -

審査結果発表

《コミュニケーションの対象期間》



2017年11月1日 ~ 2018年10月31日

《応募総数》 **196件**



最終審査結果リスト

<敬称略>

	コミュニケーションの名称	コミュニケーションの主体	推薦者
大賞	Braille Neue (ブレイル ノイエ)	高橋鴻介 (電通)	大久保雅英 (I&S BBDO)
優秀賞	別府温泉「Go! 草津」	別府市 (別府市観光戦略部観光課)	滝澤暢之 (博報堂)
優秀賞	漫画『100万の命の上に 俺は立っている』ワケあり無料版	講談社 電通	入江晋太郎 (ENJIN)、 清水香奈衣 (ジェイアール東日本企画)、 宮本雄生 (読売広告社)
優秀賞	おくる福島民報	福島民報社	古橋章吾 (I&S BBDO)
優秀賞	#PUPPY NEW YEAR	NPO法人 犬と猫のためのライフポート アドビシステムズ 東急エージェンシー	日野紗和 (東急エージェンシー)、 山田将平 (東急エージェンシー)、 中沢渉 (モメンタム ジャパン)
優秀賞	炎上シミュレーションゲーム「大炎笑」	博報堂『広告』編集部 大炎笑制作委員会	上野冠 (ジェイアール東日本企画)
ファイナリスト	未来レストランいぶき	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 地球をみまもるプロジェクト ADK CSRプロジェクト	池上亮太 (ADKマーケティング・ソリューションズ)、 清水麻由 (ADKマーケティング・ソリューションズ)
ファイナリスト	港の猫とおばあちゃんプロジェクト	Yaika factory	桑嶋剛史 (博報堂)

※推薦者の所属は応募時点



【大賞】 Braille Neue (ブレイル ノイエ)



【優秀賞】 別府温泉「Go! 草津」



**【優秀賞】 「100万の命の上に俺は立っている」
ワケあり無料版**



【優秀賞】 おくる福島民報



【優秀賞】 #PUPPY NEW YEAR



【優秀賞】 炎上シミュレーションゲーム「大炎笑」



【ファイナリスト】 未来レストランいぶき



【ファイナリスト】 港の猫とおばあちゃんプロジェクト

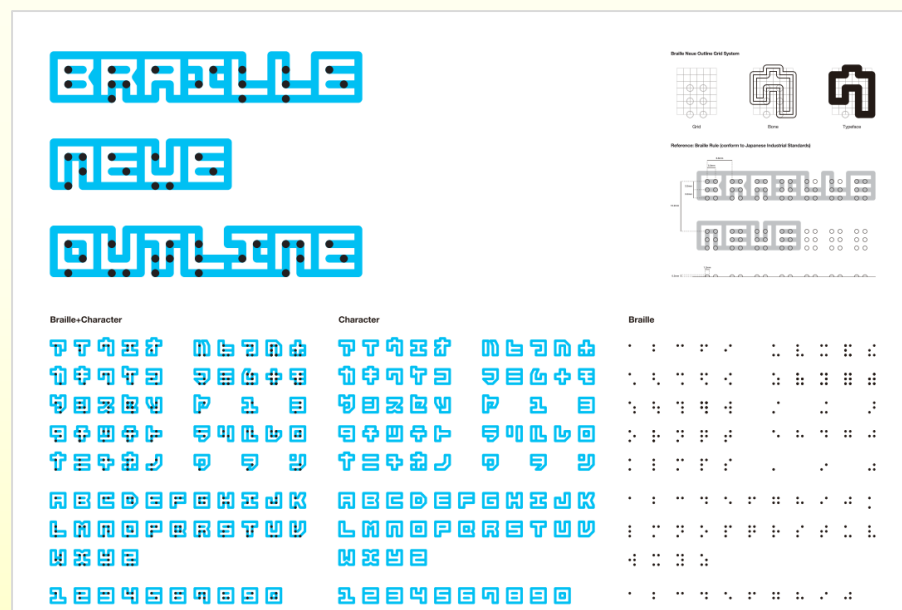
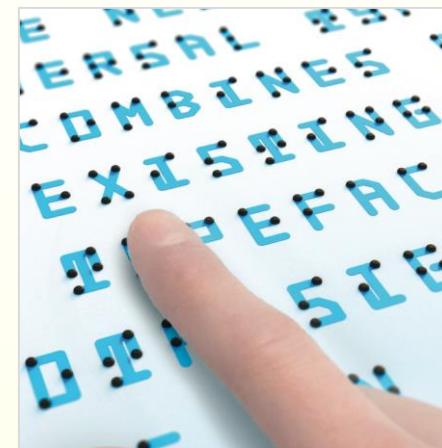
【大賞】 Braille Neue (ブレイル ノイエ)

高橋鴻介 氏

晴眼者（いわゆる視覚障害のない人）が使う墨字と、視覚障がい者が使う点字が一体となった、目でも指でも読めるユニバーサルな書体の制作、普及を行なっていくプロジェクト。

現在の点字は視覚障がい者専用の文字であり、多くの晴眼者は読むことができない。視覚障がい者と晴眼者が同じツールを使い、同じ場所で同じ情報を共有することで、新しいコミュニケーションを生み出そうという試み。

1964年の東京オリンピックで、日本が世界にピクトグラムを広めたときのように、2020年に向けて東京にBraille Neueを実装し、インクルーシブなデザイン文化の発信を目指す。





【優秀賞】別府温泉「Go! 草津」

別府市（別府市観光戦略部観光課）

2018年1月23日に群馬県草津温泉付近の火山が噴火、危険はなかったが、いわゆる風評被害によって宿泊客のキャンセルが殺到、このライバルの危機に対して、別府温泉が粋なはからいをしたことで、自らはもちろん業界全体のブランディングに成功した事例。

噴火から約1カ月後に、「今は、別府行くより、草津行こうぜ。」と西日本新聞、大分合同新聞に広告を出稿、別府市観光協会のSNS等でも積極的に発信した。

2016年に起きた熊本・大分地震後のキャンペーンのクリエイティブを利用している。

業界のライバルと「競合」するのではなく「共生」することで、業界全体に新しいファンを生み出した。





【優秀賞】漫画『100万の命の上に俺は立っている』 ワケあり無料版

株式会社講談社
株式会社電通

—「新刊マンガですが、全ページ無料ダウンロードできます」—、マンガは、読まないで魅力がわからない、だが魅力がわからなければ買いたくない、そんな矛盾に挑戦した施策。

マンガ『100万の命の上に俺は立っている』の、すべてのコマを「いらすとや」のフリーイラストに差し替えて、（最新）第5巻を一冊まるごとダウンロード可能、シェアもフリーにした（本物は読みたくなったら別途購入してもらう）。

マンガにとって第5巻は、売上によっては作品の命運を分ける重要な巻で、この「ワケあり無料版」や特設サイトの開設等が話題を呼び、売上は維持され関連ツイートも2万件を超えた。

マンガの新しい販促のかたちを提示した。





【優秀賞】おくる福島民報

株式会社福島民報社

2018年8月21日の福島県民の日に、福島民報紙面を「本日の福島民報は、手紙になります。」と、封筒のかたちに折りたたんで大切な人に送ることができる仕組み。

東日本大震災による福島第一原発事故のために、平成が終わろうとしているいまもなお3万人以上の人々が避難生活を余儀なくされている。特に、県外避難者は故郷と疎遠になったり、実態がつかみにくなっていっている状況がある。

そんな地元を離れた人たちに、故郷では今も元気に暮らしているということを、地元紙にしか載らない「きょうの福島」のニュースと一緒に届ける。

『「帰ってきてほしい」でもなく、
「忘れないで」でもなく、
ただページをめくる間だけでも、
みんなが里帰りできますように。』





【優秀賞】#PUPPY NEW YEAR

NPO法人 犬と猫のためのライフポート
アドビシステムズ株式会社
株式会社東急エージェンシー

犬猫の殺処分数は年々減少傾向にあり、2017年度は初めて1万匹を下回ったものの、それでも8,362匹が処分されている。

「#PUPPY NEW YEAR」は、2018年の戌年という犬への関心が高まるタイミングに、人々が年賀状用に犬の写真を探す習慣を利用した、保護犬を救うプロジェクト。

タレント犬さながらに撮影された保護犬の写真をアーカイブしたフリー素材サイトを開設し、ユーザーは好きな子犬の画像をダウンロードして年賀状に利用したり、SNSでの挨拶にも使えるようにした。

また、気になった子犬には、面会もできるような仕組みを用意し、直接里親が見つかるきっかけをつかった。





【優秀賞】 炎上シミュレーションゲーム「大炎笑」

株式会社博報堂『広告』編集部 + 大炎笑制作委員会

世にも恐ろしい炎上をみんなで楽しく遊びながら疑似体験できる、世界初の炎上体験ゲーム。

お互いの顔を見ながら本音を言い合うことで、自分の発言がどんどん炎上していく怖さと、炎上させることがだんだん楽しくなっている自分の心の恐ろしさを同時に体験できることは、対面コミュニケーションが必須のカードゲームならではの魅力と言える。



雑誌『広告』の企画から始まり、ECサイトやクラウドファンディング経由で販売を行っていたが、2020年教育改革に関連した「アクティブラーニング」の文脈を捉え、新たな販路として学校教育（道徳・情報の授業）への導入を推進。現在30校程度で採用されるなど、着実に実績を積み重ねている。

また、シラバス（指導案）を埼玉県越谷市立平方中学校長と共同で開発するなど、授業における実用面をしっかりと見据えた展開を行っており、広告会社の自社事業開発におけるモデルのひとつとして注目すべきケースである。





【ファイナリスト】未来レストランいぶき

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
地球をみまもるプロジェクト
ADK CSRプロジェクト

JAXAをはじめとした団体による、「地球をみまもるプロジェクト」による施策。

地球温暖化が進んだ未来を実体験できるレストラン。2018年2月25日、表参道で1日限定でオープン。

青いパスタやゼリーで包んだたこ焼きなど、見た目はSF的だが、これは温暖化以降もなんとか調達できる食材で調理した結果ということ。

価格が高騰したり収穫が減少したりした小麦や魚介を、スピルリナなどのスーパーフードやフルーツで人工的に代替、レシピもサイトに掲載された。





【ファイナリスト】港の猫とおばあちゃんプロジェクト

合同会社Yaika factory

高知県の小さな港町「やいか」で、猫用のおやつ商品を開発し、全国に販売している施策。

「やいか」に住む高齢者におやつ作りを手伝ってもらい、売上の一部を保護猫の活動の支援に充てている。

さらに商品は特産品として町の活性化にも貢献、ひとつのアイデアで、高齢者の活躍の場の提供と、地域の活性化、そして捨て猫の問題への対応と、三つの社会問題を解決している。





広告業界の若手が選ぶ、 コミュニケーション大賞

-Innovative Communication Award (ICA)-



YOUNG CREATIVE AWARD
若手大賞

新しいってなんだろう。



U-30が選ぶ広告賞



【募集期間】10.1(月)~10.31(水) 【賞金】20万円